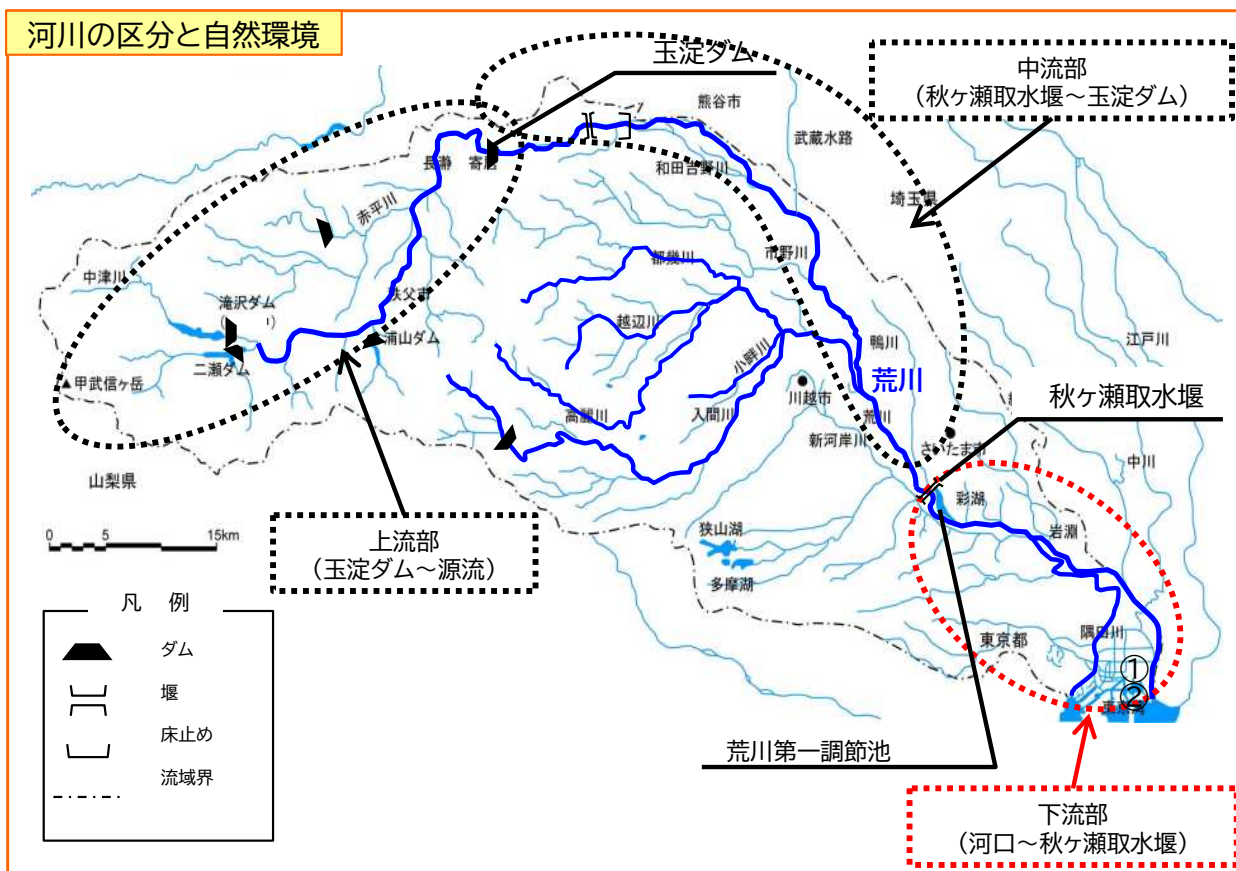


自然再生

- 都市域を流れる下流部は、汽水域のヨシ原や干潟が形成され、市街化された地域の貴重な自然空間となっています。
- 都市域における広大な空間は、その時々ニーズに合わせて利用形態が変化し、利用空間の拡大に併せて、自然環境は減少していきました。
- 都市域における貴重な自然空間の再生と拡大を目指して、自然再生事業の取組を始めました。現在は流域治水として、治水の取組と併せた自然環境の再生を実施しています。



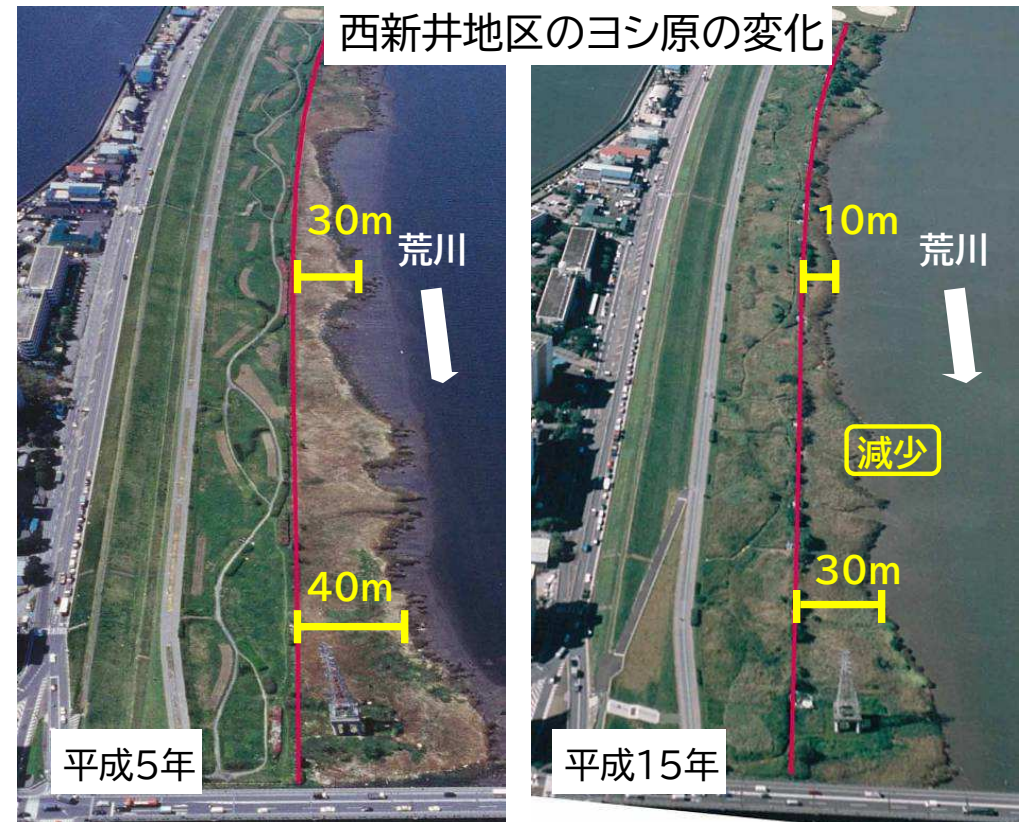
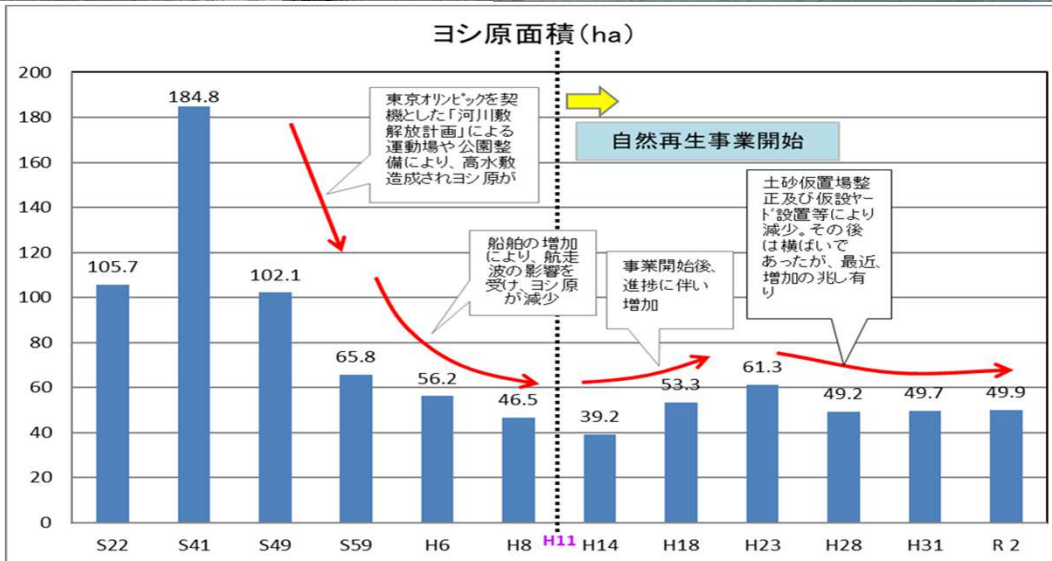
①ヨシ原(江戸川区小松川)



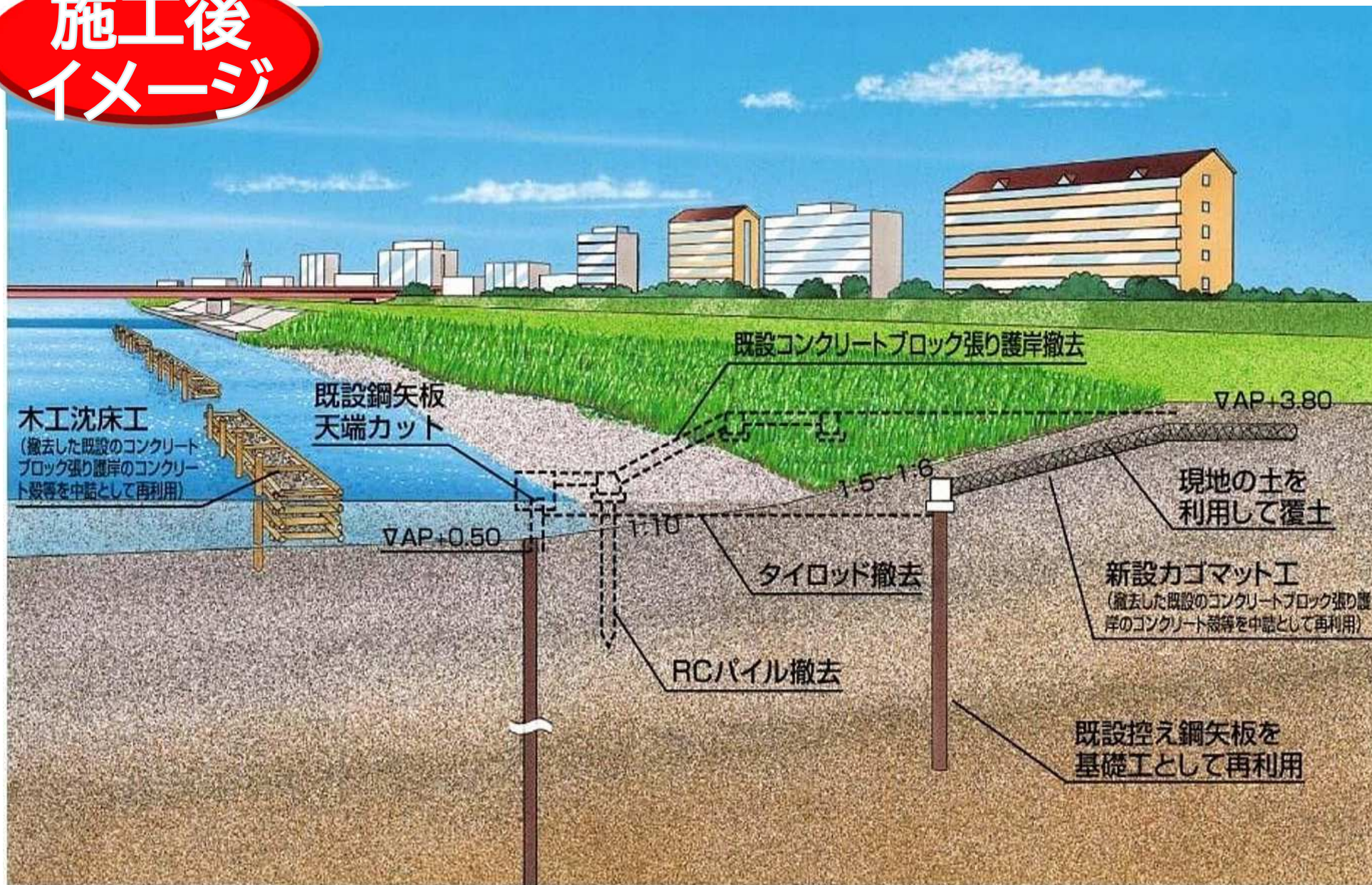
②干潟(江東区新砂)



- 河口より埼玉県(志木市) までは、タンカーが毎日航行し、首都圏の重要な物流ルートとなっていました。
- 一方、平成元年以降大型化したタンカーが作りだす航走波等により、河岸が浸食され、その結果、昭和49年から平成14年の間でヨシ原の面積が**102haから39haに減少**しました。



施工後 イメージ



既設護岸を撤去し、ヨシ原や干潟を再生

- 直立矢板とコンクリートブロックで、水面と河川敷を分断している既設護岸を撤去し、緩やかな水際を創出して、ヨシ原や干潟の再生に取り組みました。
- 航走波によるヨシ原や干潟の浸食を防ぐため、消波対策として木工沈床の整備をしました。
- 施工から20年が経過し、木工沈床を超える植生帯に回復しています。

整備済み箇所の事例:小松川地区 【直立護岸を取り除き、緩やかな水際部を創出】

